

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業		担当部署	企画総務部 企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地方税法等の一部を改正する法律、所得税法、法人税法など	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと	終期		
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	2	財政の健全化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市にゆかりのある方、本市を応援したい方など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市を応援したい、本市に貢献したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「寄附金制度」の確立。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		寄附金額	2,000	3,000	3,000	4,000	4,000	千円

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	年間5千円以上ふるさと納税寄附金をいただいた方へ、記念品として本市観光施設のペアチケット(鳴門市ドイツ館、賀川豊彦記念館、渦の道)を進呈した。寄附金の使途状況を市公式ウェブサイトで公開した。また、PR用チラシを作成し、県人会などにおいて配布するなど、制度の周知に努めた。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 ふるさと納税寄附者人数	20	14	30	40	40	人
	2 うちリピーター人数	8	12	15	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	寄附金額	2,920	5,604	—	—	—	千円
	目標達成率(実績/目標)		186.8	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	34	63	145	145	145	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	34	63	145	145		145
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		672	672	672	672	672	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		706	735	817	817	817	千円	

【事務事業名:「ふるさと納税寄附金」等推進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	年間1万円以上ふるさと納税寄附金をいただいた方への記念品を本市の特産品である「なると金時」に変更し、本市の魅力をPRするとともに、県人会等において、ふるさと納税PRパンフレットの配布を行う。また寄附していただいた方が、寄附の効果を実感できるように、いただいた寄附金がどのような事業に活用されたかを、寄附者に対して、情報提供するため事業化の検討をすすめる。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	ふるさと納税寄附金制度をPRすることにより寄附金額が増加すれば、一般財源に頼らない行政活動が可能になり市民サービスの向上につながる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 効率的・効果的な行財政運営の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	県人会への積極的な働きかけ、記念品等の充実などを行ったことにより、新規寄附者の増加、またリピーターの確保につながった。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	平成23年度より電子申請を導入しており、業務効率化を図っている。今後とも寄附者の方にさらに電子申請を活用していただけるようPRしていく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成24年度は、平成23年度と比較して、リピーター数は増えているが寄附者の人数が減っている。平成25年度においては、パンフレットを新たに更新・作成し、PRを行っているところだが、今後ともより一層「ふるさと納税制度」の分かりやすい説明と鳴門市を応援したいと思っただけのようにPR方法の改善を行い、さらなる周知・拡充に努めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	「ふるさと鳴門」を感じていただけるように、ふるさと納税PRパンフレット及び市公式ウェブサイトの改善を行い、さらなる周知・活動につなげる。			